

地域計画

策定年月日	令和7年3月17日
更新年月日	令和8年7月22日 (第4回更新)
目標年度	令和12年度
市町村名 (市町村コード)	紫波町 (03221)
地域名 (地域内農業集落名)	彦部 (彦部南向、彦部北向、大巻、星山)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	(694.39) 694.16 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	(614.72) 614.49 ha
② 田の面積	(567.99) 567.76 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	(41.73) 41.73 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	184.46 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	－ ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

当地域は、紫波町東部に位置しており、彦部、大巻、星山の3つの地区で構成されている。大巻及び星山地区は、主に北上川東側の平坦地、彦部地域は中山間地と平坦地で水田農業が展開されており、農業用水は主に北上川からのポンプアップにより供給されている。また、当地域は、町内屈指のうるち米の多収穫地帯であり、早くから集落営農が進められ、各地区で農業生産法人による大規模な営農が行われている。このほか、地域内では、畜産業や野菜・果樹生産も行われており、水稻とその他の品目を組み合わせた複合的な農業経営も行われている。

しかしながら、近年ではクマやシカ等の野生動物による被害の拡大、農業者の高齢化や担い手不足など、地域農業の継続に関し様々な課題を抱えている。今後は、地域農業を継続させるため、農業者だけでなく、地域住民と農業者が一体となって農地利用・農地保全を進める体制を構築し、農業に関する地域課題を解決するための各種取組を実施していく必要がある。

＜地区の主要作物:水稻、小麦、飼料作物、野菜、果樹(リンゴ、ブドウ)＞

○地区別の主要な課題

【彦部地区】

中山間地域に属している農地が多く、ほ場区画が狭小で法面が急こう配かつ長大など、農作業にとって働きにくい農地が多く存在している。このことから、離農等により誰かに農地を貸したくても借りてもらえない、担い手が規模拡大したくても集積・集約しにくい状況にある。また、農地だけでなく水利施設や農作業道に関しても、経年劣化や破損による機能喪失、古い規格で整備されたままのため使いにくいなどの課題がある。

【大巻地区】

主に平地農業地域に属しており、水田は30～100aで用水はパイプライン化されたほ場が多いものの、山際の一部の農地が中山間地に属し狭小・不整形で農業者にとって働きにくい農地が存在している。また、地区内農地の多くが、農事組合法人や認定農業者等の担い手農家に集積されているものの、耕作者毎の集約化・団地化までは至っていない状況である。

現状のほ場区画では大型農業機械が入れないため農作業の効率化が進まない、水利施設や農道の経年劣化や破損による機能喪失、山際の中山間地での鳥獣被害の課題がある。

【星山地区】

主に平地農業地域に属しており、現在地区内で県営基盤整備事業が実施され、水田は30～100aで区画整理され、用水はパイプライン化されている。しかしながら、基盤整備事業区域外の農地については、狭小・不整形で農業者にとって働きにくいものとなっている。また、地区内農地の多くが、農事組合法人や認定農業者等の担い手農家に集積されているものの、耕作者毎の集約化・団地化までは至っていない状況である。

地域内における認定農業者は、(農)星山営農生産組合、(農)ゆいっこの里犬草の2法人与7名の個人となっており、高齢化・後継者問題の関係から個人農家は減少することが予想される。また、個人認定農業者3名は畜産との複合経営であり、ここ数年において耕種を中心とした経営の認定農業者は、法人のみとなる可能性が高い。認定農業者は、基盤整備事業区域外においても多くの面積を耕作していることもあり、事業区域外の所有者が経営を中止した場合は、その相続者の意向もあるが受け手不足が懸念される。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

彦部地域の現状及び課題を踏まえ、地域農業の継続及び発展のため、今後は農業者だけでなく、地域住民と農業者が一体となって農地利用・農地保全を進める体制を構築し、農業に関する地域課題を解決するための各種取り組みを地区毎に展開していく。生産作物に関しては、引き続き水稲と転換作物を組み合わせた水田農業を展開しつつ、農業収入の向上に向け、野菜や果樹などの高収益作物の導入を検討していく。

【彦部地区】

- ・農地に関しては、法人を中心に担い手への集積集約化を図り、基盤整備事業も同時に進めることで、耕作者が働きやすい環境整備を進める。
- ・農作業に関しては、スマート農業の導入を積極的に進め、作業の効率化と負担軽減を図る。
- ・労働力に関しては、新規就農者の確保・育成を進めるとともに、地区外からの労働者確保(雇用就農)という形でも農業の担い手を確保し、地域全体で農業に関する労働力を確保していく。

【大巻地区】

- ・農地に関しては、法人等担い手への集積集約化を図り、基盤整備事業の実施も検討しつつ、耕作者が働きやすい環境整備を進める。
- ・大巻地区全体の経営計画を検討し、地域農業が継続していける営農形態を検討、実行していく。
- ・労働力に関しては、新規就農者の確保・育成を進めるとともに、地区外からの労働者確保(雇用就農)という形でも農業の担い手を確保し、地域全体で農業に関する労働力を確保していく。

【星山地区】

令和8年度には基盤整備事業が完成(本登記完了)予定であり、基盤整備事業完了後のほ場において耕種が中心の営農形態となっていくと考えられる。今後は農業生産法人が中核となって地域農業を守っていくことが予想される。このことから、地域農業の将来は、農業生産法人の経営方針に大きく影響されることを考慮し、地域における農業を守るためには、農業生産法人の永続的経営と発展が重要である。

- ・基盤整備事業区域内 農業生産法人が中心となり営農を維持する。
- ・基盤整備事業区域外 所有者の個人管理が基本となる。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地中間管理機構の活用等により、地区内の農業生産法人等の担い手経営体への農地の集積・集約化を基本としつつ、基盤整備事業等による耕作条件の改善・向上に取り組み、耕作者が働きやすい環境整備を進める。また、農地利用に関しては、引き続き農業利用が可能な土地を優先しつつ、長期間耕作されず復旧困難な農地に関しては、林地化や農業以外の利用を検討していく。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	(80.07) 80.10	%	将来の目標とする集積率 (80.07) 80.10 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
現況耕作者及び農地所有者の理解を得ながら、農地中間管理機構の活用等により担い手経営体が働きやすいよう、段階的に集団化(集約化)を進めていく。また、今後基盤整備事業を予定する場合は、事業計画の検討段階から担い手毎の農地の集団化を見込みながら計画策定を進める。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組	
・法人等担い手への集積集約化を促進し、担い手農家や農業者が働きやすい環境整備を進める。 ・同時に、農地所有者に対しても農地の集積集約化に関し意向確認や周知を行い、地域全体で理解を深めて行く取り組みを行う。 ・法人等担い手だけでなく、個人農家も継続して農地利用を行っていきけるよう、農地利用改善団体を中心に地区全体で連携しながら農地利用調整を行っていく。	
(2)農地中間管理機構の活用方法	
・法人等担い手への集積集約化を基本としつつ、現況耕作者及び農地所有者の意向を確認し理解を得ながら、地域全体で農地中間管理事業を活用した農地集積集約化を進める。	
(3)基盤整備事業への取組	
・行政や土地改良区と連携し、基盤整備事業の実施を検討し、担い手農家や農作業従事者が働きやすく、新たな作付け希望者も募集できるような環境整備を進める。 ・県営基盤整備事業以外にも、多面的機能支払交付金や中山間地域等直接支払交付金も活用し、なるべく農家負担を増やさずに、特に経年劣化等により機能低下している水路や道路、安定的な用水供給を行うためのパイプラインやポンプ場等の用水供給施設を重点的に整備を進める。 ・ほ場区画に関しては、農業生産法人等の大規模経営体への集積集約化を考慮し、畦畔除去等による大区画化を検討していく。	
(4)多様な経営体の確保・育成の取組	
・行政やJAと連携し、新規就農者を積極的に募集し受け入れ、地域ぐるみで栽培技術指導や農業機械の調達、農地のあっせんなどの支援を行っていく。 ・地区外からも労働者を呼び込み、雇用就農のような形で農業の働き手を確保していく。	
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組	
・現時点では農業支援サービス事業者の利用実態はないが、今後離農や人口減少による労働力不足は懸念されるため、行政等関係機関から事業者に関する情報収集など活用に向けた準備を進め、現在負担となっている草刈作業を中心に利用を検討していく。	

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒	①鳥獣被害防止対策	☐	②有機・減農薬・減肥料	☒	③スマート農業	☐	④畑地化・輸出等	☐	⑤果樹等
☐	⑥燃料・資源作物等	☒	⑦保全・管理等	☐	⑧農業用施設	☐	⑨耕畜連携	☒	⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①鳥獣被害対策防止
クマやシカ等による鳥獣被害が拡大しているため、電気柵設置や地域全体での見回り体制構築などの対策を進めつつ、今後はICT技術を活用した監視・捕獲体制の導入など、より効果的かつ省力的な対策を検討・進めていく。また、農地に隣接する山林や林地化した荒廃農地については、所有者の同意を得ながら伐採を行い、緩衝地帯として野生動物の侵入を防ぐ取り組みを行う。
- ③スマート農業
高性能なりモコン式草刈機や農薬散布用ドローンの導入を検討し、農業作業の負担軽減や省力化を積極的に進めていく。
- ⑦保全・管理等
多面的機能支払交付金活動組織や中山間地域等直接支払交付金集落協定と連携し、農地保全だけでなく、道路や水路の法面、山林境界地等の草刈など、農村全体の環境を地域ぐるみで保全・管理する体制の確立を進める。
- ⑩その他(将来の担い手の確保・育成)
各地区で将来の農業の担い手が不足していることから、担い手確保・育成のための取り組みを行っていく必要がある。従来の後継者や新規就農者だけでは担い手が不足してしまうため、今後は様々な形で農業に携わる人材を確保・育成していく。
(大規模経営体への雇用就農、兼業農家、非農家の農作業従事(オペレーター等)、第3者への事業継承など)

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 12 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
	別紙1のとおり		ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	0経営体		ha	ha		ha	ha		

- 注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
- 2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
- 3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
- 4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
- 5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

- 注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
- 注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
- 注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

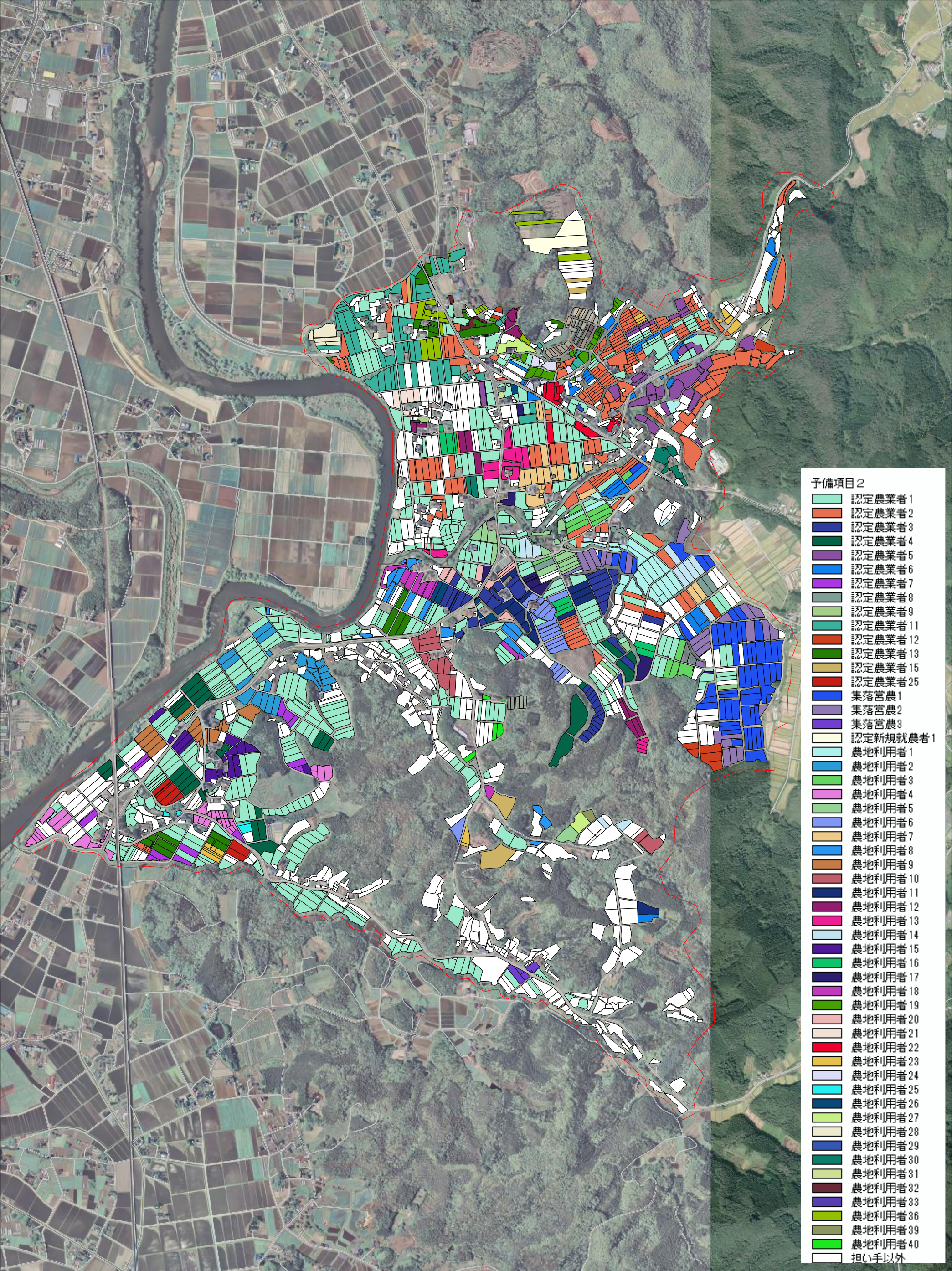
必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

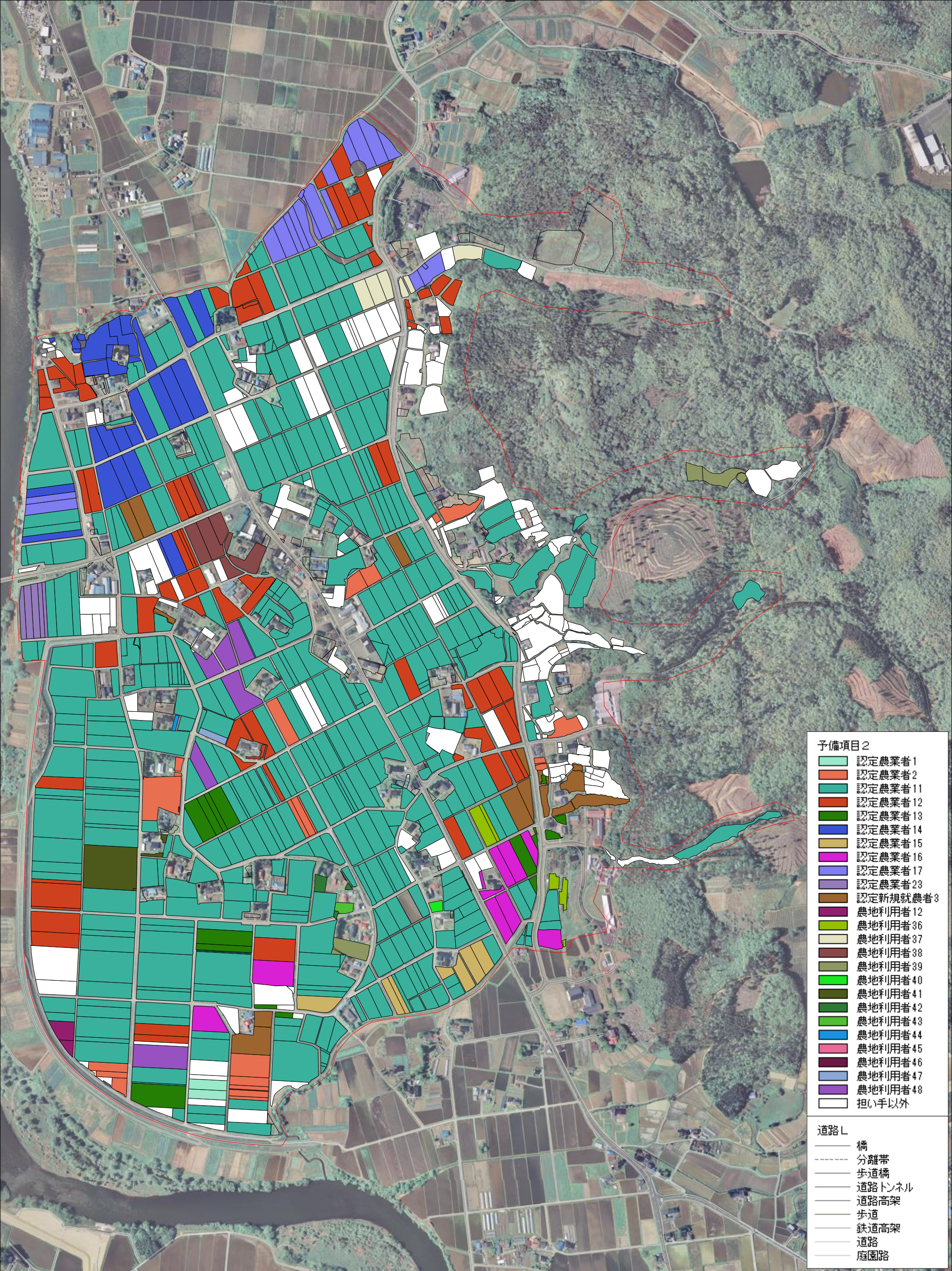
	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 12 年度)				
			経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	認農	認定農業者1	水稲、小麦	78.6 ha	0.0 ha	水稲、小麦	78.6 ha	0.0 ha	認農1	
2	認農	認定農業者2	水稲	29.0 ha	0.0 ha	水稲	29.0 ha	0.0 ha	認農2	
3	認農	認定農業者3	水稲、野菜(キュウリ)、平麦、小麦	7.8 ha	0.0 ha	水稲、野菜(キュウリ)、平麦、小麦	7.8 ha	0.0 ha	認農3	
4	認農	認定農業者4	水稲、野菜(トマト、スナックエンドウ)	7.4 ha	0.0 ha	水稲、野菜(トマト、スナックエンドウ)	7.4 ha	0.0 ha	認農4	
5	認農	認定農業者5	水稲、花き、野菜	4.6 ha	0.0 ha	水稲、花き、野菜	4.6 ha	0.0 ha	認農5	
6	認農	認定農業者6	水稲、牧草、小麦	4.1 ha	0.0 ha	水稲、牧草、小麦	4.1 ha	0.0 ha	認農6	
7	認農	認定農業者7	水稲、野菜	2.5 ha	0.0 ha	水稲、野菜	2.5 ha	0.0 ha	認農7	
8	認農	認定農業者8	水稲、野菜(キュウリ)、小麦	0.2 ha	0.0 ha	水稲、野菜(キュウリ)、小麦	0.2 ha	0.0 ha	認農8	
9	認農	認定農業者9	水稲、野菜	0.1 ha	0.0 ha	水稲、野菜	0.1 ha	0.0 ha	認農9	
10	認農	認定農業者10	水稲、野菜(キュウリ)	0.0 ha	0.0 ha	水稲、野菜(キュウリ)	0.0 ha	0.0 ha	認農10	
11	認農	認定農業者11	水稲、小麦、そば	107.9 ha	0.0 ha	水稲、小麦、そば	107.9 ha	0.0 ha	認農11	
12	認農	認定農業者12	水稲、繁殖牛、WCS、牧草	22.6 ha	0.0 ha	水稲、繁殖牛、WCS、牧草	22.6 ha	0.0 ha	認農12	
13	認農	認定農業者13	水稲、大豆、野菜	9.0 ha	0.0 ha	水稲、大豆、野菜	9.0 ha	0.0 ha	認農13	
14	認農	認定農業者14	水稲、野菜、花き	6.4 ha	0.0 ha	水稲、野菜、花き	6.4 ha	0.0 ha	認農14	
15	認農	認定農業者15	水稲、果樹	4.9 ha	0.0 ha	水稲、果樹	4.9 ha	0.0 ha	認農15	
16	認農	認定農業者16	水稲、野菜(キュウリ)、大豆	2.7 ha	0.0 ha	水稲、野菜(キュウリ)、大豆	2.7 ha	0.0 ha	認農16	
17	認農	認定農業者17	水稲、飼料米、小麦、子実とうもろこし	71.4 ha	0.0 ha	水稲、飼料米、小麦、子実とうもろこし	71.4 ha	0.0 ha	認農17	
18	認農	認定農業者18	小麦、そば、大豆、野菜	9.9 ha	0.0 ha	小麦、そば、大豆、野菜	9.9 ha	0.0 ha	認農18	
19	認農	認定農業者19	水稲、牧草、小麦、繁殖牛	15.5 ha	0.0 ha	水稲、牧草、小麦、繁殖牛	15.5 ha	0.0 ha	認農19	
20	認農	認定農業者20	水稲	18.6 ha	0.0 ha	水稲	18.6 ha	0.0 ha	認農20	
21	認農	認定農業者21	水稲、小麦、WCS、繁殖牛、肥育牛	3.6 ha	0.0 ha	水稲、小麦、WCS、繁殖牛、肥育牛	3.6 ha	0.0 ha	認農21	
22	認農	認定農業者22	水稲、牧草、WCS、スイートコーン	4.3 ha	0.0 ha	水稲、牧草、WCS、スイートコーン	4.3 ha	0.0 ha	認農22	
23	認農	認定農業者23	水稲、小麦、花き	5.2 ha	0.0 ha	水稲、小麦、花き	5.2 ha	0.0 ha	認農23	
24	認農	認定農業者24	水稲	7.4 ha	0.0 ha	水稲	7.4 ha	0.0 ha	認農24	
25	認農	認定農業者25	水稲、小麦、花き	1.7 ha	0.0 ha	水稲、小麦、花き	1.7 ha	0.0 ha	認農25	
26	認農	認定農業者26	水稲、繁殖牛、飼料作物	1.5 ha	0.0 ha	水稲、繁殖牛、飼料作物	1.5 ha	0.0 ha	認農26	
27	集	集落営農1	水稲、小麦	12.9 ha	0.0 ha	水稲、小麦	12.9 ha	0.0 ha	集1	
28	集	集落営農2	水稲	7.2 ha	0.0 ha	水稲	7.2 ha	0.0 ha	集2	
29	集	集落営農3	飼料作物	0.6 ha	0.0 ha	飼料作物	0.6 ha	0.0 ha	集3	
30	集	集落営農4	水稲	0.0 ha	4.0 ha	水稲	0.0 ha	4.0 ha	集4	
31	認就	認定新規就農者1	果樹(ブドウ)	1.5 ha	0.0 ha	果樹(ブドウ)	1.5 ha	0.0 ha	認就1	
32	認就	認定新規就農者2	野菜(ミニトマト)	0.1 ha	0.0 ha	野菜(ミニトマト)	0.1 ha	0.0 ha	認就2	
33	認就	認定新規就農者3	水稲、野菜、果樹	3.9 ha	0.0 ha	水稲、野菜、果樹	3.9 ha	0.0 ha	認就3	
34	利用者	農地利用者1	水稲、野菜	5.4 ha	0.0 ha	水稲、野菜	5.4 ha	0.0 ha	利用者1	
35	利用者	農地利用者2	水稲、野菜	4.5 ha	0.0 ha	水稲、野菜	4.5 ha	0.0 ha	利用者2	
36	利用者	農地利用者3	水稲、野菜	3.8 ha	0.0 ha	水稲、野菜	3.8 ha	0.0 ha	利用者3	
37	利用者	農地利用者4	水稲、野菜	3.4 ha	0.0 ha	水稲、野菜	3.4 ha	0.0 ha	利用者4	
38	利用者	農地利用者5	水稲、野菜	3.4 ha	0.0 ha	水稲、野菜	3.4 ha	0.0 ha	利用者5	
39	利用者	農地利用者6	水稲、野菜	3.3 ha	0.0 ha	水稲、野菜	3.3 ha	0.0 ha	利用者6	
40	利用者	農地利用者7	水稲、野菜	3.2 ha	0.0 ha	水稲、野菜	3.2 ha	0.0 ha	利用者7	
41	利用者	農地利用者8	水稲、野菜	3.2 ha	0.0 ha	水稲、野菜	3.2 ha	0.0 ha	利用者8	
42	利用者	農地利用者9	水稲	3.2 ha	0.0 ha	水稲	3.2 ha	0.0 ha	利用者9	
43	利用者	農地利用者10	水稲、野菜	3.1 ha	0.0 ha	水稲、野菜	3.1 ha	0.0 ha	利用者10	
44	利用者	農地利用者11	水稲、野菜	3.0 ha	0.0 ha	水稲、野菜	3.0 ha	0.0 ha	利用者11	
45	利用者	農地利用者12	水稲、野菜	3.0 ha	0.0 ha	水稲、野菜	3.0 ha	0.0 ha	利用者12	
46	利用者	農地利用者13	水稲、野菜	2.8 ha	0.0 ha	水稲、野菜	2.8 ha	0.0 ha	利用者13	
47	利用者	農地利用者14	水稲、野菜	2.7 ha	0.0 ha	水稲、野菜	2.7 ha	0.0 ha	利用者14	
48	利用者	農地利用者15	水稲	2.5 ha	0.0 ha	水稲	2.5 ha	0.0 ha	利用者15	
49	利用者	農地利用者16	水稲、野菜	1.9 ha	0.0 ha	水稲、野菜	1.9 ha	0.0 ha	利用者16	
50	利用者	農地利用者17	水稲、野菜	1.8 ha	0.0 ha	水稲、野菜	1.8 ha	0.0 ha	利用者17	
51	利用者	農地利用者18	水稲、野菜	1.7 ha	0.0 ha	水稲、野菜	1.7 ha	0.0 ha	利用者18	
52	利用者	農地利用者19	水稲、野菜	1.5 ha	0.0 ha	水稲、野菜	1.5 ha	0.0 ha	利用者19	
53	利用者	農地利用者20	水稲	1.3 ha	0.0 ha	水稲	1.3 ha	0.0 ha	利用者20	
54	利用者	農地利用者21	水稲、野菜	1.1 ha	0.0 ha	水稲、野菜	1.1 ha	0.0 ha	利用者21	
55	利用者	農地利用者22	水稲、野菜	1.1 ha	0.0 ha	水稲、野菜	1.1 ha	0.0 ha	利用者22	
56	利用者	農地利用者23	水稲、野菜、果樹	1.0 ha	0.0 ha	水稲、野菜、果樹	1.0 ha	0.0 ha	利用者23	
57	利用者	農地利用者24	水稲、野菜	0.8 ha	0.0 ha	水稲、野菜	0.8 ha	0.0 ha	利用者24	
58	利用者	農地利用者25	水稲、野菜	0.8 ha	0.0 ha	水稲、野菜	0.8 ha	0.0 ha	利用者25	
59	利用者	農地利用者26	水稲	0.8 ha	0.0 ha	水稲	0.8 ha	0.0 ha	利用者26	
60	利用者	農地利用者27	水稲、野菜	0.7 ha	0.0 ha	水稲、野菜	0.7 ha	0.0 ha	利用者27	
61	利用者	農地利用者28	水稲、野菜	0.5 ha	0.0 ha	水稲、野菜	0.5 ha	0.0 ha	利用者28	
62	利用者	農地利用者29	水稲、野菜	0.4 ha	0.0 ha	水稲、野菜	0.4 ha	0.0 ha	利用者29	
63	利用者	農地利用者30	水稲、野菜	0.4 ha	0.0 ha	水稲、野菜	0.4 ha	0.0 ha	利用者30	
64	利用者	農地利用者31	水稲、野菜	0.1 ha	0.0 ha	水稲、野菜	0.1 ha	0.0 ha	利用者31	

	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 12 年度)					
			経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考	
65	利用者	農地利用者32	水稲、野菜	0.1 ha	0.0 ha	水稲、野菜	0.1 ha	0.0 ha	利用者32		
66	利用者	農地利用者33	水稲	0.0 ha	0.0 ha	水稲	0.0 ha	0.0 ha	利用者33		
67	利用者	農地利用者34	水稲	0.0 ha	0.0 ha	水稲	0.0 ha	0.0 ha	利用者34		
68	利用者	農地利用者35	水稲	0.0 ha	0.0 ha	水稲	0.0 ha	0.0 ha	利用者35		
69	利用者	農地利用者36	水稲、野菜	3.5 ha	0.0 ha	水稲、野菜	3.5 ha	0.0 ha	利用者36		
70	利用者	農地利用者37	水稲	2.2 ha	0.0 ha	水稲	2.2 ha	0.0 ha	利用者37		
71	利用者	農地利用者38	水稲	1.1 ha	0.0 ha	水稲	1.1 ha	0.0 ha	利用者38		
72	利用者	農地利用者39	水稲、野菜	0.9 ha	0.0 ha	水稲、野菜	0.9 ha	0.0 ha	利用者39		
73	利用者	農地利用者40	水稲、野菜	0.6 ha	0.0 ha	水稲、野菜	0.6 ha	0.0 ha	利用者40		
74	利用者	農地利用者41	水稲、野菜	0.2 ha	0.0 ha	水稲、野菜	0.2 ha	0.0 ha	利用者41		
75	利用者	農地利用者42	水稲、野菜	0.1 ha	0.0 ha	水稲、野菜	0.1 ha	0.0 ha	利用者42		
76	利用者	農地利用者43	水稲、野菜	0.1 ha	0.0 ha	水稲、野菜	0.1 ha	0.0 ha	利用者43		
77	利用者	農地利用者44	野菜	0.0 ha	0.0 ha	野菜	0.0 ha	0.0 ha	利用者44		
78	利用者	農地利用者45	野菜	0.0 ha	0.0 ha	野菜	0.0 ha	0.0 ha	利用者45		
79	利用者	農地利用者46	野菜	0.0 ha	0.0 ha	野菜	0.0 ha	0.0 ha	利用者46		
80	利用者	農地利用者47	野菜	0.1 ha	0.0 ha	野菜	0.1 ha	0.0 ha	利用者47		
81	利用者	農地利用者48	水稲	2.2 ha	0.0 ha	水稲	2.2 ha	0.0 ha	利用者48		
82	利用者	農地利用者49	水稲、野菜	1.6 ha	0.0 ha	水稲、野菜	1.6 ha	0.0 ha	利用者49		
83	利用者	農地利用者50	水稲、野菜	4.7 ha	0.0 ha	水稲、野菜	4.7 ha	0.0 ha	利用者50		

彦部地区 目標地図



彦部（大巻）地区 目標地図



星山地区 目標地図

